

何度も繰り返す皮膚炎と  
生後から続く鼻づまり・下痢の症状が、  
水素体質のレメディですべて改善

JPHMAホメオパス認定NO.0179 JPHMAアニマルホメオパス認定NO.0094

日本ホメオパシーセンター練馬平和台

片上敦子

## ◆主訴の内容：2歳 男子

1. 足首にかきむしるとじゅくじゅくする皮膚炎が再発。
2. 生後からまったく改善しないひどい鼻づまり
3. 生後から続く、1日に何度もでる下痢。

生後8か月・初回相談会  
主訴：顔・頭・四肢などの皮膚炎



2021年8月 1 日



2回目相談会  
2021年8月26日

母親が皮膚炎で摂取したステロイドや  
ワクチンなどをデトックスするレメディにより、  
3回の相談会できれいになった。



2回目相談会后2021年9月1日



2回目相談会后2021年9月5日



ところが2歳になって足首にかきむしるほど痒い炎症が出てきた。

生後から続く鼻づまり、下痢の症状も継続していた。

2023年4月3日 両足首の様子



◆第1回目：2023年4月3日

朝・晩：アルポ / Cupr(銅)6 c + Bor(ホウ素)30c + Tell(元素)10M  
+ Nux-V(マチン)1M + Tub-B(結核菌)LM 6

随時：サポートJ(腎臓)、Lac-D(脱脂乳)30c + Gaert(腸内細菌)200c

◆1回目の結果：2023年8月31日（約5ヶ月後）

足首の皮膚はかなりきれいに改善したが、  
レメディが切れる頃から少しずつ皮膚炎が戻り、  
現在はかき壊して血がでている。

両膝裏や腕の内側にも痒みが出、左の太腿後ろ(お尻の付け根)に少し湿疹が出て痒がる。

◆第2回目：2023年8月31日

朝・晩：アルホ° / Aen-D(亜鉛軟膏)6c + Zinc-M(塩化亜鉛)12c +  
Tell(元素)30c + Ol-J(肝油)30c + Tub-B(結核菌)LM9

随時：MT/ホ° -トShoka(消化) + Lac-D(脱脂乳)6c +  
Morgan-G(腸内細菌)30c + Prot(腸内細菌)30c  
St-C-D(ステロイドコンビネーション)30c

◆2回目の結果：

すぐに皮膚炎は治まり、1カ月ほど保っていたが、  
またレメディが切れる頃から悪化し始める。

なぜ症状がぶり返すのか？

生まれて以来続く軟便に、腸内細菌のレメディの効果がなく、  
鼻詰まりも改善しないのはなぜなのか？

## ◆タイムライン

**0歳**：ワクチン歴なし

生後タオルに包まれたまま、膝丈くらいの台から落下する。

生後2週間：ほおやおでこに小さいブツブツ。鼻づまりがひどく、毎日吸引機で吸わないと苦しくて泣く。

**1か月**：目から上の皮膚がうるこのようになり、腕や腹にも発疹が広がってくる。

**4か月**：体の発疹は改善したが、顔が悪化し浸出液がでてドロドロし、分厚い瘡蓋ができる。皮膚科で亜鉛化軟膏を塗る。

**5か月**：カサカサしていた足までジュクジュクしてくる。

**6か月**：豊受クリニックでツムラの漢方の処方・ワセリンをぬり、顔の皮膚炎が少し落ち着く。



**7か月**：顔はきれいになってきたが、足だけかゆみと炎症がひどい。

**8か月**：1回目の健康相談会（2021年7月2日）

**10か月**：2回目（2021年9月9日。2回目の相談会で皮膚炎はかなり治まる。冒頭の写真）

**1歳**：3回目（2021年11月9日）3回の相談会で終了。

**2歳6か月**：相談会に再来(2023年4月3日)。足首にかきむしるとジュクジュクした皮膚炎が再発。鼻づまりと下痢の症状はまだ継続していた。

## 水素体質の定義

多湿状態、入浴、水分の多い食べ物に過敏な体質。

水素体質の特徴には周期性が挙げられる。

NAT-Sは「水素体質」の典型的なレメディであり、  
ハーネマンの淋病マヤズムに対応するレメディである。



NAT-Sは雨やあらゆるかたちの水分によって悪化する。

乾燥、多湿などの湿気の変化を感じ取る。

水際で栽培された野菜さえ口にできない。魚も食べられない。

常に暖かい乾燥した空気の中で最高に調子がいい。

頭部の症状、頭部の創傷。精神疾患は転倒、

または他の頭部の傷などが原因で起る。

毎年春になると皮膚の障害が再発する。

【ロビンマーフィー・マテリアメディカより抜粋】

## 【NAT-Sのマテリアメディカ/ロビンマーフィーより抜粋】

**頭部：** 落下や頭部の損傷などの悪影響とその後の肉体的・精神的不調。

**皮膚：** 水っぽい、黄色の水疱。かゆみ、かゆいにきび。湿疹はじくじくと浸出液が多量。

**鼻：** 鼻づまりを伴うコリーザ。鼻のカタル、濃い、黄色の分泌物と塩っぽい粘液。

**直腸：** 下痢は黄色く水っぽい。 朝のゆるい便、湿った天気になると悪化。

◆第3回目：2023年10月30日

朝：アルポ° / Zinc-M(塩化亜鉛)30c + Merc-Sol(水銀)LM 2 +  
Cupr(銅)12x + Candi-Al(カンジダ)30c + Tub-B(結核菌)LM10

晩：アルポ° / Nat-S(硫酸ナトリウム)200c + Puls(西洋キナグサ)LM 1

随時：MT/サポ° -ト Shoka + Lac-D6c + Morgan-G30c +  
Prot30c (前回の残り)

St-Der-St-D(ステロイド° / デルモベ° -ト) 6c



2023年11月30日/クライアントのお母さまからメール

ボコボコした湿疹が足首と太ももに出てきて、掻き壊して痛みで歩けないほどで、泣いています。

## 2023年11月26～30日の皮膚の状態



### ◆2023年11月30日 途中相談

随時：MT/Ruta(ヘンルーダ) + **Nat-s(硫酸ナトリウム)LM1** + Thuj(ニオ化バ)30 c + Ferr-p(リン化鉄)200 c + SEP(イカ墨)200 c + Hep(硫化カルシウム)30 c



## 途中相談の経過/クライアント様より

- 12/1 : 抗生剤を12月5日の朝まで塗る。  
12/5 : 痒みはあるが湿疹が薄くなった。  
夜は一度くらいしか起きない。  
12/9 : 夜に発熱 39°C台。  
12/10 : 朝から39.5°C。夜に40.1°Cまで上がる。鼻水あり。  
12/11 : 朝は39.7°C。夜には40°Cまで上がる。  
12/12 : 朝は38°C後半の熱。夕方から平熱に戻る。グズグズ、甘えん坊。  
12/13 : 朝は37°C代前半。夕方から39°Cに上がる。昨日まで元気だったのが、少しぐったり、更にずっと抱っこして欲しいがる。皮膚炎は改善スピードがゆっくりになっている。





◆第4回目：2023年12月14日

朝：アルポ / FNG-D(抗菌剤) + Penic(ペニシリン)200c + Cupr(銅)6 + Thym-GL(胸腺)12 c + Med(淋病)30c

晩：アルポ / Nat-s(硫酸ナトリウム)LM 2 + Zinc(亜鉛)LM 1 + ARS(砒素)6 c

◆4回目の結果：

途中相談後の発熱はNAT-Sの反応だった。

40度近い高熱が5日続いた間に、3回も肺からどろどろした粘液を吐いた。

皮膚炎のかゆみも炎症も落ち着いてきた。



水素体質を改善しようとしているのではないか。

## 第4回目の経過/クライアント様より

2023/12/18：夜に痒がって起きなくなってきた。

12/20：昼間は痒がるが、見た目は改善してきている。

12/26：足首と腿裏は見た目が格段に綺麗になってきた。

このところずっと鼻水が出ている。

12/31：夕方に体が熱いので熱を測ると**39.4°C**あった。

2024/1/1：朝から**40°C**の熱。

1/2：朝は**37.4°C**までさがるが、夜に**38.7°C**にあがる。

1/3：朝は**39.6°C**ある。午後に**37.0°C**にさがる。夜に熱が少し上がったが、翌朝には平熱に。

1/4：朝は平熱、夜中に**38.6°C**に。咳と鼻水が出ている。朝には平熱に下がる。

1/5：咳と鼻水がでていたが、自然に咳は治まる。

1/13：皮膚がかなりきれいになり、夜も起きなくなってきた。

昼間は掻きむしるが、前と違って血が出ない。

◆第5回目：2024年2月8日

朝：アルポ / FNG-D(抗菌剤)30 c + Cupr(銅)LM1 + Onkokin(御古菌)6 c + Med(淋病菌)6 c

晩：アルポ / Nat-s(硫酸ナトリウム)LM3 + Zinc(亜鉛)LM2

第5回目の経過/クライアント様より

2/15： 夜中起きて掻きむしることがなくなってきた。

2/18： 少し鼻血がでていた。

2/28： 目が真っ赤でかゆい。Apis200cで落ち着く。

3/ 9： 少し鼻血が出ていた。

3/10： また少し鼻血が出ていた。

夜中に起きて掻きむしることが殆どなくなり、見た目もとてもきれいになった！

2023年12月24日



2024年4月10日



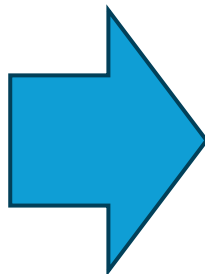
3回目の相談会で、NAT-S200c  
のヒットから一度悪化した太  
ももと膝裏が途中相談で少し  
改善している。

何度も高熱を出し、5回目  
の相談会でここまで改善。

1回目2023年4月3日

5回目2024年4月10日

足首の様子





## ◆ 5 回目の結果：

皮膚炎は膝裏、もも裏、足首ともにかなりきれいになり、痒みで夜中に起きることもなくなった。

3月中に鼻血がよくでて、気が付くと鼻づまりが改善していた。下痢は治まり、柔らかめのバナナ便になった。

## ◆ 第 6 回目：2024年 4 月12日

朝：アルポ/ Cupr(銅)LM5 + Alf(アルファルファ)30 c + Ars(砒素)6 c + Med(淋病)30 c

夜：アルポ/Nat-s(硫酸ナトリウム)LM6 + Zinc(亜鉛)LM4 + Ign(イグナチア)LM1

随時：MT/サポート Cho (腸)

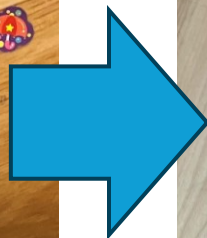


## 第6回目の結果

膝裏ともも裏は、発疹はみられないほどに改善



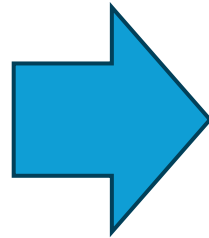
2024年4月10日



2024年6月24日

レメディが切れると  
足首に痒みが出てきた

NAT-Sをさらに継続  
して治まってきた



2024年6月24日

2024年9月28日


## ◆まとめと考察


\* 2歳で足首にでた皮膚炎は、生後から続く下痢と鼻づまりの症状を合わせて考えると、生後に頭部を打撲したことが最大の原因と考えられる。


\* 頭部打撲により起こる水素体質のNAT-Sをとることにより、皮膚からの排出、高熱、肺から粘液の排出、鼻血といった好転反応の結果、皮膚炎、下痢、鼻づまりの症状がすべて改善した。

\* 主訴だけでなく、不随する症状、基調、タイムラインが重要視されるホメオパシー療法ならでの改善ケースと思われる。

ご清聴ありがとうございました。

健康相談会のお問合せは [コチラ](#)   
日本ホメオパシーセンター練馬平和台  
ホームページ：<https://jhc-nerima.net/>

各種オンラインセミナーは [コチラ](#)   
片上敦子の自然療法サロン Natura  
ホームページ：<https://natura-pathy.com/>

Youtube無料動画は [コチラ](#)   
片上敦子のオンラインミニセミナー  
やさしいホメオパシー(2024年10月スタート)